

ちゃん。正月の第一信が。長い手紙だと思ったら、全

くがっかりさせられる便りだ。——お父ちゃんは。ニヤニヤして

「あ、おとなになうな。」なんつていふけど、物はバカバカしく

くて、気が落ちるしやうだ。ま、正直に書いちゃくれなうはいけ

といふ大体。あの自筆さきには人様うづらさげられ、走らせられ

ている画みもない。女に目かくしで。元もとそゆうううなんてエ

ゲツなく考えようか。お金をまじ上げられんだよ。ま、あ、美

人局（）にありて。暇にやカメラまでとりあたら

This space is also for correspondence

ここに通信文を記載することができます

とらんらんよ。



れ、フクロボリキにあわなかつたわけよ。お母さん  
はがアとするけれど。一ヶ月分の物の給料を一晚で差引き上げ  
れるなんて！ 考えてみろさい。情さうよ。それに洗車する  
せの人は親切にして5時間もまてんけして。やと無かつた。箱  
から追り出される破目にやうなやつらにやられる。プルビシオ  
がついてるから。世に義をつけて。と罵る人がいる。これのは正に  
あたるね。人生の上のいい経験だ。これは違ふやうだが今後  
えんちひい。まぬけを固くあきらめよう。義をうけてさい。  
無銭旅行にかかんかんの。ササに今うた。新ルイタリ  
ーキリエヤだつた。キリエヤの漁村とすさう。日本のおいれた  
魚村よりまだいい。食念だ。これは海外のヨリで少しで  
みるから知ろう。世の子が外国に行きまをうけること  
はうけるもの。うらり。一の男。それかうスベイレの男。と相  
場がきまつてる。今度スベレ旅行するぞ。だいたい。南半  
んがある。あの茶屋のところなんだから。ニ番と。世を罵るや  
といふことはしなう。腹我。考えなう。胸ぐり悪いや。  
まだ。さんとした。悲々する。音がましだ。とりかえてやうとか  
えやうにえわるとか。今度こそ。とめつて。だんだん。涙にはけ  
のけ。馬でル。輪でル。同様にやうな。ミギリをうければ二才  
同様しな。鏡。げがすんだルのと。本多た。心かむよ。自分  
が。しなう。金。は。どうして。大いにしなう。ル。う。う。う。  
と。市。フジ。しめな。おしなう。新。しい。年の。始め。なる。ね。  
一月にやうな。6日は。勝代。おぼやんのお母さんが死んだ。  
様。コ。ワ。に入。て。テ。レ。ビ。を。み。ろ。う。内。に。胸。が。苦。しく。う。う。  
若。ん。ひ。う。う。う。に。死。ん。で。し。う。う。と。う。よ。心。臓。が。そ。れ。で。お。ぼ。や  
んとこの4月。2人と4.5日。あ。あ。か。そ。(お。ぼ。や。ん。ル。お。ぼ。や  
ん。ル。新。潟。の。帰。り。か。う) や。つ。と。帰。る。ま。じ。や。し。と。思。う  
たり。今。度。は。13日に。蒸。る。と。お。母。さん。が。二。階。の。窓。か。う  
道路へ。お。う。こ。う。人。身。不。肖。で。病。院。に。運。ば。れ。て。い。る。ま。じ。  
お。ぼ。や。ん。蒸。る。と。お。母。さん。に。万。回。ご。め。な。せ。て。帰。り。した。親。一人。子  
一人。か。う。可。哀。想。に。蒸。る。と。お。母。さん。も。暗。い。顔。を。し。て。い。る。この  
月の二十日。二十一日には。蒸。る。と。お。母。さん。は。金。沢。大。学。の。上。等。部。の。大。三  
院。を。受。け。る。その。ま。じ。お。ぼ。や。ん。だ。し。ね。蒸。る。と。お。母。さん。は。通。る。必。ず  
う。よ。お。金。に。苦。勞。し。な。が。ら。世。の。ま。で。ル。か。と。いつ。て。う。ら。や。ない  
の。頭。の中。少。し。洗。濯。し。な。う。い。い。

家の二方は、道を通るにむきであつた。昔少といふ大工の棟梁さんにかざしていい。と、うゝといたうゝたうゝたうゝ。早速、相手をしする年寄りにうゝといたうゝ。お計圓ル、井戸をいれ、十二尺堀るゝゝに、と、うゝたうゝたうゝ。何しろいい家ゆゑ、めつくれん。地をは、昨夜、自分達の部屋の見取圖を



書いぢうしこけい。xclしくさうさわして、役所まへにせう  
いふ。ここにも通信文を記載することができます This space is also for correspondence.

今年、国交に、郵便料はあがる。物価はあがる。わか

ら、さう一般と、物価が高くなるよ。この肉三越へ行

らう。秋まで100円でお買えにマトレ（一番安い）が5月

高くなるよ。魚の相場は50円が相場にさうしうらん。

本村氏の件は承知した。一切れとしかく顔を見、金をと

移さうとさう指示通りします。その時、貴君は牛にんお

くる。本村は2月までの金が都合がいいんぢう。——さうさうさう

わけ。4月と金保うな。アチスの神屋の石でしかうこればいいのだ。